

4段階評定 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	評価指標 及び 具体的目標	方策と手立て	自己評価	結果の考察・分析及び改善策等	評価委員評価	学校関係者評価委員の意見
学力の定着と向上	(1) 「本時のねらい」を確実に定着させる授業を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 「授業改善の4+4のチェックポイント」に基づいた実践を推進する。 振り返りや補充の時間の確保に努める。 	3.0	○ 臨時休業により、年度当初は授業時数の確保を心配したが、教科書の内容は計画どおり終了。1・2年生は今年度の学習の振り返り、3年生は受験に向けた学習を行う時間も確保できた。 △ 1学年は1月の実力テスト、2学年は12月の「みやぎ学力調査」の結果を分析した。どの教科にも共通した課題に対して、次年度は校内で共通実践し、それぞれの学年での取組も工夫していきたい。 △ 授業の終わりに、その日のまとめや振り返りを行い、その内容を宅習ノートにまとめることや予習事項などを連絡し、家庭学習で取り組む内容を具体的に伝えるようにした。また、宅習ノートのコピーを廊下に掲示したり学級通信で紹介したりして、他の生徒の参考になるようにした。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 入試だけではなく、中学校での学習が自分たちの生活とどう関連しているのか、また、学生時代に嫌いであったものが将来役に立つことを含めて指導してほしい。 学力というとテストの点数など成績だけに目がいくが、知・徳・体・考える力など生徒を総合的に見て評価してもらいたい。 学校で討論やディベートなど、人前で自分の意見を述べたり、議論したりする授業や活動も行うとよいのではないか。 勉強する目的について、家庭で親と話す時間があると、子どもが将来のことを考え、そのことで勉強への意欲付けになるのではないか。 これからの20年はこれまでの100年と同じ速度で変化していく。まるで違う世界を子どもたちは生きていくことになる。将来設計ができるキャリア教育をお願いしたい。
	(2) 生徒一人一人のテスト結果やアンケート結果を活用して個別指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> テスト前の計画作成時やテスト返却時などに生徒が振り返りをしたり教師が指導したりする機会を設けるとともに、日々の努力を見届ける。 	2.7			
	(3) 生徒一人一人の家庭学習の様子を把握して、その質的・量的充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業(内容)を家庭学習に連動させることに努めるとともに、家庭学習の方法等についても具体的に指導を行う。 	2.5			
育豊かな人間性の	(1) コミュニケーション能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを適切に伝え、相手の考えに耳を傾けて互いに納得するような対応力を身に付けさせる。 	3.3	○ 全校生徒を集めての集会活動ができなかったため、部活動等や各種コンクールで入選した生徒の賞状、新聞記事、生徒が表紙を飾った町広報誌などを玄関前廊下に掲示して、生徒の活躍を紹介した。 △ 毎月のいじめアンケートや年3回の教育相談を実施し、生徒の実態や悩み事などを把握するよう努めた。今後も日常的に生徒への声かけや目配りを行い、積極的な生徒指導に努めていきたい。 ○ 学校アンケートでは、「友だち等と仲よく過ごしているか。」「学校は楽しいか。」「先生たちはいじめが起これないようにしたり、いじめがあったら解決するように努力しているか。」について保護者や生徒から高い評価があった。今後も生徒理解や迅速な対応に努めていきたい。	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 中学生のあいさつがとてもよい。どんどんよくなっている感じがする。子どもたちから元気をもらっている。 コロナ禍のため対面でのコミュニケーションの機会が減っている。自分の考えを相手にわかりやすく伝えたり、相手を理解したりする力を付けてほしい。 これからのコミュニケーションは対面が減り、メディアを使って行うことが増えてくる。キャリア教育の点からも、それに対応できる力も付けてほしい。 校長室の前に賞状がたくさん貼ってあり、来校者も子どもたちの活躍がよく分かる。賞状を貼ってもらい、子どもたちも嬉しいだろう。
	(2) 達成感や自己肯定感(有用感)、学校生活への満足感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が活躍できるような場の設定に努める。 「学校生活が楽しい」と感じる生徒を増やす。 	3.2			
	(3) いじめや不登校の未然防止や的確な初期対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 日常の観察や「いじめアンケート」実施、相談窓口の紹介などによって、いじめの早期発見を期す。 不登校の未然防止や的確な初期対応を行う。 	3.3			
安体全力管・理健の底増進及び	(1) 望ましい生活習慣や運動習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 年輪(生活の記録)を通して、日々の生活を振り返らせる。 アンケートを通して実態を把握するとともに、メディア利用の在り方についての啓発を行う。 	2.9	○ 学級担任が毎日「年輪」に目を通し、コメントを書くなどして、実態把握に努めた。 ○ 新型コロナウイルス感染症防止のために、マスクの着用や手指の消毒、手洗い、換気、放課後の校内の消毒などを徹底した。今後も油断することなく、感染症対策を徹底していきたい。 △ メディアに関するアンケートを実施したり関係機関から講師を招いての「ケータイ・スマホ安全教室」を開催したりした。今後も生徒や保護者への啓発や注意喚起を続けていきたい。 ○ 毎月の安全点検や年2回の避難訓練で、職員及び生徒の安全への意識を高めることができていた。大きな事故等もなかった。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの使い方や危険性について専門家を招いての「安全利用教室」はよい取組だと思うので今後も続けてほしい。また、メディアの問題は子どもたちだけでは解決できないので、保護者の意識を高めるためにもPTA活動としても取り組んでもらいたい。 SNSは最近、誹謗中傷などの問題が起きている。今後はインターネットの本来の目的を達成するための指導をお願いしたい。 学力のために健康は大切であり、親からももらった自分の体は、自分だけのものではないことを生徒に教えてほしい。コロナに勝つためにも、健康な体が大切であることも指導してほしい。 中体連など各種大会で部活動がよい結果を出していることは地域住民としてもうれしい。日頃の指導に感謝したい。
	(2) 交通安全や地震・津波への対応などの安全教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 自転車点検や自転車通学生集会、交通安全教室等を通して交通安全の意識を高める。 地震や津波、火災等への避難訓練を実施する。 	3.4			
	(3) 施設設備の安全点検や安全管理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月始めに職員による安全点検を行う。 日常的な校内巡回の際に危険箇所や危険な状況がないかを注視する。 	3.0			
学信校頼づくれ期待に	(1) 服務規律を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> 交通違反や事故、体罰等の不祥事を防止するとともに、職場や地域における適切な関係性を保持する。 自分の姿や言動が「生徒にとっての生きたキャリア教育」であるという自覚を深める。 	3.2	○ 毎月コンプライアンス点検を実施した。また不祥事もなかった。今後も継続していきたい。 △ 職員の出勤時刻の把握を年間を通して行った。超過勤務時間が45時間を越えている職員もいるので、次年度はさらに改善していきたい。 ○ 学校だよりや学級・学年通信を通して生徒のようすが保護者に伝わるようにした。また学校だよりは校区内に回覧したりホームページに掲載したりした。 △ 今年度、ホームページは209回更新し、3学期の1日平均の閲覧者は、およそ250人程度で、昨年度よりも増加した。これからもPRを続けたい。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 今の学校の方針は間違えていない。子どもたちの将来像を見い出させてあげるのが教育である。学校と家庭がしっかりタッグを組み、子ども中心にやっていくことが大切だと思う。 子どもの教育は先生の健康があつてのものなので、先生方も健康に気を付けて仕事をもらいたい。 以前よりも小学校と連携して子どもの教育を行っていることがよく分かる。9年間を見据えた教育活動を今後も進めてもらいたい。 学校関係者評価委員会が合同で行われるようになり、参加しやすくなった。民生委員としても連携がとれていることで活動しやすい。 ホームページがよく更新してあり、子どもたちの写真も多い。もっと保護者にPRをしていくとよい。
	(2) キャリアデザインの具現化と効率的で質の高い職務遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージを見通した課題や目標の明確化と自己啓発を行う。 望ましいWork-Life/バランスを実現する。 	3.4			
	(3) 積極的な情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより等による情報発信を推進する。 ホームページによる情報発信を推進する。 	2.6			